

第1学年総合的な探究の時間 授業案

令和元年10月28日

1. ねらい

高校生が身近に抱える問題の根本を探る手法を理解し、課題解決に活用できるようにする。

2. 対象学級

1年1組, 1年4組

3. 講師

東北芸術工科大学コミュニティデザイン学科 岡崎エミ准教授

東北芸術工科大学コミュニティデザイン学科 学生ファシリテーター 6～7名

4. 指導過程

段階	学習活動	形態	教師の働きかけや留意点
導入 (10分)	1 講師紹介  2 本時の流れを知る。  3 6人1組のグループをつくり、ワークのテーマとなる問題を定める。	一斉  一斉  グループ	○事前に1学年の生徒が持つ身近な悩みの中からテーマを選ばせる。
展開 (30分)	4 イシューマップを作成するワークショップ行う。 ①解決したい問題を川上に置く。 ②その問題の背景・派生する影響・ゴールに至る手立てを付箋にできるだけ多く書く。 ③記入した付箋をグルーピングしたり因果関係を矢印でつないだりする中で、問題の根本を探り、解決に至る手立てをマッピングする。	グループ	○どんな考えも尊重されることを伝え、活発な議論を促す。  ○まずは思いつく限りできるだけ多くの項目を付箋に書くように促す。 ○つまづいているグループに対して助言を行う。
まとめ (10分)	5 全体共有, 振り返り	一斉	○1グループ1分程度で発表を行い, 全体共有を行う。

